

社会科学書・人文書・歴史書 **ご担当者 様**

有志舎の新刊です。2018年3月下旬刊行

協同主義とポスト戦後システム

雨宮昭一 著

四六判・ハードカバー・260ページ 本体価格 2,600円
ISBN978-4-908672-20-0

新自由主義の時代から新しい協同主義の時代へ！

「自己責任」「市場中心」という古い体制を越え、新たなオルタナティブを歴史の循環から理論化し、現実の地域で生起している動きと連動させつつ、新しい日本社会が進む方向を指し示す。

(目次)

はじめに

第1章 戦後の越え方と協同主義——協同主義研究のための見取り図の一つとして

第2章 日本政治史と地域の過去・現在・未来——甲州、水戸、石見

第3章 郊外都市の新たな挑戦——ポスト・ベッドタウンへ

第4章 安倍政権と戦後システムのゆらぎ——同一の未解明の歴史的課題のさまざまな解き方

第5章 戦後の越え方＝越え方に関わる学問的方法

第6章 〈対談〉ポスト戦後体制と協同主義 ——東浩紀著『ゲンロン0 観光客の哲学』を参照しつつ
(雨宮昭一×平良好利)

〈著者紹介〉

雨宮昭一 (あめみや しょういち) : 1944年生まれ、茨城大学名誉教授、政治学・近現代日本政治史専攻

～版元から～ 現代日本は、戦後システムからポスト戦後システムへの大きな転換期にあり、既存の在り方がすべて揺らいでいます。国際的には冷戦後における地域対立の激化、国内的には低成長・財政難、少子化・高齢化の進行などです。そういう揺らぎを見据えつつ、私たちは直面する課題を、非軍事的な方法で、またこれまでの経済成長以外の方法によってどのように解決していけばよいのでしょうか。本書はそれを新しい協同主義に見出していきます。現実の地域社会・コミュニティで展開されている共生の在り方やネットを利用した互助・互酬・贈与のシステムなどの新しい事例と、マクロな近現代史分析のクロスオーバーから、「戦後の越え方」を新新に提示します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	協同主義とポスト戦後システム 雨宮昭一 著	現代社会 日本史(現代)
	ご担当	四六判・ハードカバー、280ページ 本体価格 2,600円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN978-4-908672-20-0 C1021	

ご注文は 有志舎 担当：永滝 (ナガタキ) まで FAX：03-5929-7352

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信ください。